

地域医療連携室だより

地域医療支援病院 登録医療機関 201件

2011年7月



アンモナイトが寄贈されました

東日本大震災の被災地の皆様に心よりお見舞いを申し上げます

病院長 康井 制洋

東日本大震災による巨大津波と福島第一原子力発電所の事故によって未曾有の災難が東北地方を襲い、被災地の過酷な状況が連日報道されています。被災された皆様には、心からお悔やみを申し上げますとともに、厳しいストレスが続く環境のなか、日々の健康に留意し、希望の光を絶やさず、艱難に立ち向かっていただける事を願ってやみません。

幸いにも、免震構造の本館はもとより、当センターの各施設は地震による損傷はありませんでした。このような中で、こども医療センターでは神奈川県立病院機構と協同して、医師をはじめ多職種で編成する医療救護チームや「こころのケア」チームを被災地へ派遣しました。また、被災地区から患者さんの転院や関東地方に避難された患者さんの外来受診もみられています。派遣チームの帰還後の報告からも復旧・復興にはまだまだ長い時間が必要と推察されますが、今後も職員一同で継続的な支援に取り組んでゆきたいと考えています。

こども医療センターには毎年たくさんの患者さんが来院されます。昨年度の新患や入院・入所された実患者数はそれぞれ七千百人を越え、外来診療には延べ十五万人以上の患者さんが受診されました。1970年の開設以来、一患者一カルテ番号制を採用していますので、爾来、四十年間で二十七万人近くのこども達が当センターを利用したことが分かります。震災直後には交通機関の不具合や余震の影響、ご家庭の事情等で外来ならびに入院患者が一時的に減少しましたが、新年度を迎え四月には例年どおりの利用状況に復帰しています。

病院は大量の電力を消費する代表的な施設です。当センターでは大震災以後、廊下や事務室の照明器具の削減、パソコンやプリンターなどの事務機器の一部休止など、こまめな対応によって、電力供給の不足が予想される夏場に備えて積極的な節電対策を行っています。外来・入院診療の円滑な実施はもとより、専門病院としての高度な医療機能を損なわず、入院・入所中の毎日が少しでも良好な環境で過ごせるように、職員・ボランティア全員で知恵を絞り、安全・安心・快適な病院を身近に実感して頂けるように工夫して参りますので、より一層の連携とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。





心房中隔欠損に対するカテーテル治療の取り組み

循環器科 上田 秀明

2005年に承認されて以来、国内では2,000以上の症例に対してカテーテル治療が行われています。当院でも2006年以降200を超える症例にカテーテル治療が実施されています。全世界ではすでに10万人以上の方が治療を受けています。このカテーテル治療は、アンプラッツァー閉鎖栓と呼ばれる特殊な器具をカテーテルに装着し、心房中隔欠損を閉じるというものです。治療3-6か月後には、閉鎖栓周囲が心臓の膜で覆われ固定されます。全身麻酔下に2-2.5時間のカテーテル治療を行い、計4泊5日の入院期間を必要とします。退院当日から登園、登校が可能となります。

すべての心房中隔欠損症が閉鎖できるわけではありません。大きさ、穴の位置や数によってはカテーテル治療が難しい場合があります。特に体格の小さいお子様の場合、欠損孔の直径がそれほど大きくなくてもカテーテル治療が難しくなります。当院では、心房中隔欠損例の8割の方にカテーテル治療を行っていますが、治療可能かどうかの判断に、術前に胃カメラのような経食道エコー検査を受けていただくこともあります。心房中隔欠損に対するカテーテル治療のご相談は毎週水曜日午前中に行っています。ご希望の方は紹介状を地域医療連携室までお送りください。

人工心肺装置



臨床工学技士ってなに？

こども医療センターの臨床工学室



臨床工学室 三浦 正也

みなさんは、臨床工学技士を知っていますか？まだ歴史が浅く、ほんの20数年前にできたばかりの職種です。病院でもあまり表だって認識されていないので、知っている方は少ないかもしれません。またこの職種は国家資格となっており、臨床工学技士はCE(Clinical Engineering Technologist)やME(Medical Engineer)と呼ばれています。

臨床工学技士の病院での役割は、人工心肺装置・人工呼吸器・人工透析装置・輸注ポンプや輸液ポンプなど、主に医療機器の中でも生命を維持するために使用する機器類の、操作や保守点検を担っています。

こども医療センターでは、心臓手術の際に人間の心臓と肺の代わりにする、人工心肺装置の操作や心臓カテーテル検査での血圧・心電図測定を中心に仕事をしています。ほかにも呼吸療法として使用される人工呼吸器や血液中に酸素がどのくらい取り込まれているかを測定するパルスオキシメーターなど、約1,000台の医療機器の管理をMEセンターで行っています。

現在こども医療センターには、臨床工学室に5名の臨床工学技士が勤務しています。この規模の病院としては、非常に少ない人数でやっていますが、いつでも患者さんの命の安全を第一に考え、安心して医療が受けられる様に日々努力を続けています。



こどもの手術を安全でストレスフリーに！

麻酔科 何 廣臣

こども医療センター中央手術室では年間約 3,800 件もの手術が行われています。しかもそのほとんどが専門性の高いものですので安全性の確保がとても重要です。日常使用する新型の器具やモニタはもちろんのこと、非常時に備えたバックアップ器具も多種用意してあります。そして最も安全に寄与しているのは、麻酔専門医や指導医による人的バックアップ体制が整えられていることです。

こどもにとってはどんな小さな手術や麻酔でも（ただ入院するだけでも！）大きなストレスとなります。これを少しでも軽減したいと考えています。こども達にとって手術室の環境や親から離されることなどは大きな不安です。手術前の鎮静薬などにより、怖くないように麻酔をかけ、手術は眠ったままで、目が覚めたら終わっている様にしています。また、手術後の痛みは大きなストレスです。この管理には、鎮痛作用の強い麻薬や神経ブロックが全身麻酔と併用されます。年長児には患者自身がボタンを押すことによりいつでも鎮痛薬が投与できる PCA ポンプが使用可能です。さらに、2010 年には緩和ケアチームが立ち上がり、更なるこども達の周術期のストレス軽減を目指しています。



お子さんが笑顔でござせ、ご家族の力が発揮できるように

4階南病棟 脇島 千晶



4階南病棟は、新生児・乳幼児を対象とした 30 床の外科系病棟で、心臓血管外科以外の術前・術後のお子さんをお預かりしています。NICU(新生児病棟)の後方病床としての役割も担っており、昨年度、他の病棟に先駆けて看護スタッフの増員が行われ、“赤ちゃん”をお預かりする病棟として看護の充実に努めています。

新生児期・乳幼児期に手術を受けるお子さんの中には、複数回の手術が必要な方や長期入院が必要な方、気管切開や人工肛門、胃瘻など退院後に医療的ケアを必要とするお子さんも多くいます。お子さんの健康上の問題でショックを受けているご家族の気持ちに寄り添い、信頼関係を築くことを大切に、ご家族のニーズに合った看護が提供できるように努力しています。退院後に医療的ケアが必要となるお子さんや育児に不安を持つご家族へは、入院早期から保健福祉相談室や地域医療連携室、小児専門看護師、皮膚排泄ケア認定看護師などと連携をとっています。また、地域の保健師や訪問看護ステーションの方と話し合いを持つこともあります。お子さんが笑顔でござせ、ご家族の力が発揮できるようにこれからも努力していきます。

神奈川県立こども医療センターの基本理念と基本方針

1 基本理念

こどもの健康の回復及び増進と福祉の向上のため、最善の医療を提供します。

2 わたしたちのちかい

あなたの「げんき」と「えがお」のためにみんなでちからをあわせませます。

3 基本方針

- (1) 患者さんの命と安全を第一に考えます。
- (2) 患者さんと家族とともに医療を行います。
- (3) 高度、先進的な医療を行います。
- (4) こどもの発育、発達を考えた療養環境、教育環境を整えます。
- (5) 周産期・小児医療と保健・福祉に携わる人材育成に努めます。
- (6) 地域の関係機関と連携し、周産期・小児医療の充実、向上に貢献します。
- (7) 透明度の高い病院運営と情報公開に努めます。

神奈川県立こども医療センター・研修のご案内

第37回 NST勉強会

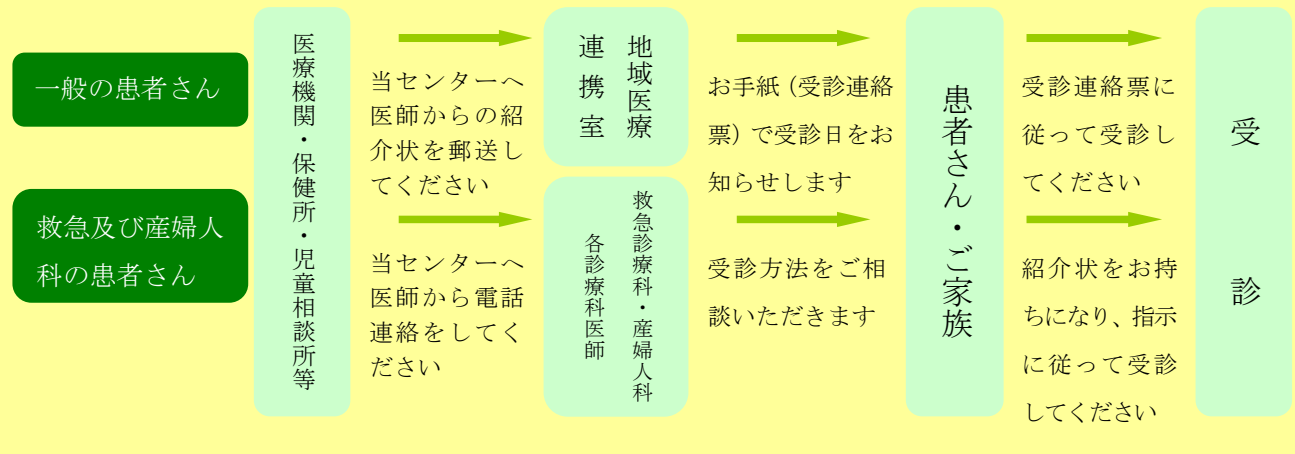
- ☆ 日時：平成23年8月30日(火)18:00~19:00
- ☆ 場所：当センター本館2階講堂
- ☆ テーマ：「自閉症スペクトラムの摂食行動」
- ☆ お問い合わせ：地域医療連携室

第2回 神奈川県小児重症例検討会

- ☆ 日時：平成23年9月16日(金)19:00~21:00
- ☆ 場所：当センター本館2階講堂
- ☆ お問い合わせ：地域医療連携室
- ※ 詳細はホームページに掲載予定です

【紹介予約受診システム】

当センターは、医療機関や保健所等からご紹介いただいた患者さんが、初診の予約をお取りになり受診していただく「紹介予約制」を取らせていただいております。予約の方法・手続きにつきましては下記をご覧ください。



※紹介状用紙(料金受取人払)の送付をご希望の場合は、地域医療連携室までご連絡ください

編集・発行

神奈川県立こども医療センター 地域医療連携室
〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 TEL 045(711)2351 FAX 045(710)1933
<http://kanagawa-pho.jp/osirase/byouin/kodomo/>



[平成 23 年度 学習会・研修会予定]

内 容	日 程
学術集談会	6/11, 11月
心臓血管外科学習会	5/20, 9/30, 1/20
循環器連携カンファレンス	4/22, 6/24, 10/28, 2/24
神奈川胎児エコー研究会	4/24, 6/19, 12/11, 2/26
心臓病胎児診断症例報告会	5/22, 7/31, 11/27, 1/29, 3/25
NST 勉強会	4/26, 6/17, 8月, 10月, 12月, 2月
母乳育児学習会	5/27, 11/25
神奈川県小児重症例検討会	9/16

[平成 22 年度 研修会・勉強会 実績]

対象者	日 程	テ ー マ
学術集談会		
医師、看護師等 医療従事者	6/12, 12/11	①こどもの痛みを大脳生理から考える ②こども医療センターが今後目指すもの 他
心臓血管外科学習会		
医師・看護師等	6/11, 11/19, 3/18	①症例検討 ②特別講演：「TOFからPA VSD MAPCAまで」 他
循環器連携カンファレンス		
医師・看護師等	4/23, 6/25, 10/22 2/25	①症例検討：「紹介いただいた症例の報告」 ②特別講演：「当院におけるカテーテルインターベンションの現状」 他
神奈川 胎児エコー研究会		
医師、技師、助産師、 看護師等	4/18, 6/20, 12/5, 2/13	①ファロー四徴症の解剖・診断治療について ②TOFの胎児診断 ③22q11, 2欠失症候群の臨床像と遺伝的解説 ④Step Up!胎児心臓スクリーニング 他
NST勉強会		
医師、看護師等	4/14, 6/4, 8/6, 10/8, 12/14, 2/22	①臨床栄養はおもしろい ②小児心臓病と栄養 ③地域連携と栄養 ④経腸栄養トピックス 他
母乳育児学習会		
医師・助産師・看護師等	5/28, 11/26	①母乳育児と薬剤 ②母乳育児と鉄 ～母乳で育てられているこどもを鉄欠乏から予防するには～ 他
第6回小児科 夏季セミナー		
小児科志望研修医、 小児科医等	8/7, 8/8	総合診療科、集中治療科、血液再生医療科、内分泌代謝科、感染免疫科、遺伝科、アレルギー科、神経内科、循環器科、外科、心臓血管外科、放射線科、児童思春期精神科、新生児科 計 14 コマ
ハート キッズ セミナー		
心臓病のこどもと家族 地域のこどもと家族、 医師、看護師等	8/29	ーフォンタン手術と運動ー ブタの心臓を使った手術体験、心臓エコー体験、心臓カテーテル検査 人工心肺、人工弁、人工血管、生体のり、ペースメーカー、AED等

[平成 23 年度 学習会・研修会予定]

内 容	日 程
学術集談会	6/11, 11月
心臓血管外科学習会	5/20, 9/30, 1/20
循環器連携カンファレンス	4/22, 6/24, 10/28, 2/24
神奈川胎児エコー研究会	4/24, 6/19, 12/11, 2/26
心臓病胎児診断症例報告会	5/22, 7/31, 11/27, 1/29, 3/25
NST 勉強会	4/26, 6/17, 8月, 10月, 12月, 2月
母乳育児学習会	5/27, 11/25
神奈川県小児重症例検討会	9/16

[平成 22 年度 研修会・勉強会 実績]

対象者	日 程	テ ー マ
学術集談会		
医師、看護師等 医療従事者	6/12, 12/11	①こどもの痛みを大脳生理から考える ②こども医療センターが今後目指すもの 他
心臓血管外科学習会		
医師・看護師等	6/11, 11/19, 3/18	①症例検討 ②特別講演：「TOFからPA VSD MAPCAまで」 他
循環器連携カンファレンス		
医師・看護師等	4/23, 6/25, 10/22 2/25	①症例検討：「紹介いただいた症例の報告」 ②特別講演：「当院におけるカテーテルインターベンションの現状」 他
神奈川 胎児エコー研究会		
医師、技師、助産師、 看護師等	4/18, 6/20, 12/5, 2/13	①ファロー四徴症の解剖・診断治療について ②TOFの胎児診断 ③22q11, 2欠失症候群の臨床像と遺伝的解説 ④Step Up!胎児心臓スクリーニング 他
NST勉強会		
医師、看護師等	4/14, 6/4, 8/6, 10/8, 12/14, 2/22	①臨床栄養はおもしろい ②小児心臓病と栄養 ③地域連携と栄養 ④経腸栄養トピックス 他
母乳育児学習会		
医師・助産師・看護師等	5/28, 11/26	①母乳育児と薬剤 ②母乳育児と鉄 ～母乳で育てられているこどもを鉄欠乏から予防するには～ 他
第6回小児科 夏季セミナー		
小児科志望研修医、 小児科医等	8/7, 8/8	総合診療科、集中治療科、血液再生医療科、内分泌代謝科、感染免疫科、遺伝科、アレルギー科、神経内科、循環器科、外科、心臓血管外科、放射線科、児童思春期精神科、新生児科 計 14 コマ
ハート キッズ セミナー		
心臓病のこどもと家族 地域のこどもと家族、 医師、看護師等	8/29	ーフォンタン手術と運動ー ブタの心臓を使った手術体験、心臓エコー体験、心臓カテーテル検査 人工心肺、人工弁、人工血管、生体のり、ペースメーカー、AED等